

発行/医療法人社団創造会 広報委員会

〒270-1101 千葉県我孫子市布佐834-28 ☎04(7189)1111(代)
http://www.medicalplaza.or.jp/

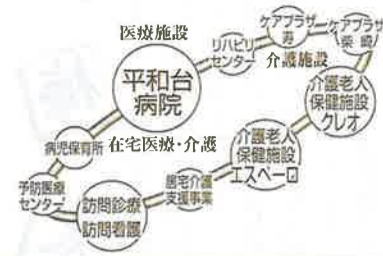
第33号発行/2010年(平成22年)2月28日

「創造会」理念

1. 私たちは、患者さんと地域の方々に求められ、望まれる医療と福祉を真摯に行います。
2. 私たちは、医療と福祉を通じて人のために尽くすということが、私たち自身の喜びとなるような創造会にします。
3. 私たちは、常に私たちの可能性を信じ、新たなものに挑戦していきます。

創造会メディカルプラザ

SOZOKAI



平和台病院	04(7189)1111(代)
介護老人保健施設エスパー	04(7189)1112(代)
介護老人保健施設クレオ	04(7179)7700
在宅センター	
訪問診療室	04(7189)1121
居宅介護支援事業所ふさ	04(7189)1113
居宅介護支援事業所けやき	04(7179)7755
訪問看護ステーションふさ	04(7189)1114
ケアプラザ柴崎	
デイサービス柴崎	04(7181)3100
グループホームヴィスタリオ	04(7181)3900
ケアプラザ寿・グループホーム寿	04(7179)6600
予防医療センター	04(7189)1119
こどもデイルームみらい	04(7189)1783

メディカルプラザ新館オープンにあたって



地域ニーズに即した医療の提供



医療法人社団創造会理事長 土井紀弘

この度救急医療を核とする念願の新館が無事竣工の運びとなりました。これも偏に関係各位のご尽力、ご支援の賜物と厚く感謝申し上げます。

平成十九年施行の改正医療法により、いわゆる4疾病5事業ごとの医療連携体制の構築が重要課題となっておりますが、当院としても地域の実情を十分に反映して、これに沿った形での医療を心がけています。

4疾病中、「がん」「脳卒中」については既に近隣主要病院様と連携体制を構築しておりますが、さらに今回は5事業中の「救急医療」についても拡充をはかりました。

さらに「早期発見・早期治療」をスローガンに予防医療センターを独立・専用に拡張し、地域の皆様方の健康長寿に大いに貢献したいと願っております。

病院機能の中心である入院については、新たに40床を増床し、一般124床、回復期リハ46床、計170床4病棟体制でお応えします。

新館竣工を機に、スタートした2010年代の医療に向けて尚一層の精進、努力を期したいと思います。

【新館概要】
建物：地上3階(RC造)
建物面積 1,343.21㎡
延床面積 3,376.45㎡

国道356号線から見た新館の正面

本館(平和台病院)

5F	手術室・薬剤科・レストラン
4F	外科系一般病棟(42床)
3F	療養棟(45床)
2F	療養棟(50床)
1F	デイケアセンター(定員40名)
B1	栄養科・厨房

フロア案内

(西立面図)

新館(本館南側)

3F	予防医療センター 在宅センター
2F	救急系一般病棟 (40床)
1F	救急センター

本館(老健エスパー)

3F	療養棟(45床)
2F	療養棟(50床)
1F	デイケアセンター (定員40名)

ある都市や地域を代表し、その名を挙げれば子どもから大人まで誰でも知っている名所・旧蹟・建造物などをランドマークという。日本を代表するものといえはこの季節、真白な雪をいただく富士山であろう。都内なら真っ先に東京タワーが目につく。たとえ有名でなくても自分のランドマークを故郷や学校、職場に皆さんお持ちだろうか。

私は以前の職場で度々ニューヨークに出張する機会があり、イーストリバーを渡りマンハッタンに近づくにつれ車窓の遠く左手に今はないワールドトレードセンターのツインタワーを望み、まさしくNYのシンボルとして訪れる度に懐かしく眺めたものである。

翻ってランドマークとしての病院はどうであろうか、どれだけ社会的認知を得ているだろうか、どれだけ地域住民に信頼され愛され親しまれているであろうか？

この度平和台病院新館は国道356号線寄りに竣工されたが、セットバックされた旧館と異なり、特徴的な格子のデザインと相まって視認性が格段に高まった。特に夜間は南側、西側壁面に取り付けられたLEDサインが真っ白く光り一目で病院の存在がわかる。

これから未永く地域の皆様に親しまれ「命」のランドマークとして輝き続けることを願いたい。(き)

新館完成記念式典《2月28日(日)》 イベント紹介

打ち手は女子大生が中心で、中学生からOLまでの独身女性ばかりです。見た目にも大変華やかで、中にはミスコン優勝者も。実は1人だけ男性の打ち手がいるのも白梅太鼓の特徴です。彼の太鼓ソロは圧巻!



当院開設時、平成18年の20周年記念式典に引き続き今回もお世話になる湯島天神白梅太鼓の皆さんです。
薫り高き梅園に、平安時代から時を告げる太鼓として伝わって来た『時太鼓』の響を受け継いだ梅太鼓。もともとの『静』の打ち方に『動』の技法を加えた若々しく躍動美溢れる太鼓が特色です。テレビに舞台に遠くフランスやドイツを始めとする海外でも広く活動をしています。

白梅太鼓



平成22年2月28日(日)に新館完成記念式典が開催されます。そこで今回行われる2つのイベントをご紹介します。
まずは講談の世界で初の重要無形文化財保持者(人間国宝)にも認定されている一龍齋貞水氏による司会と講談。そしてもう一つは湯島天神白梅太鼓保存会による白梅太鼓を披露していただきます。お忙しい中イベントに参加して頂けることに大変感謝いたします。
どちらも大変貴重な演目となっておりますので、竣工式にご出席の皆様ぜひご堪能頂きたいと思っております。

人間国宝



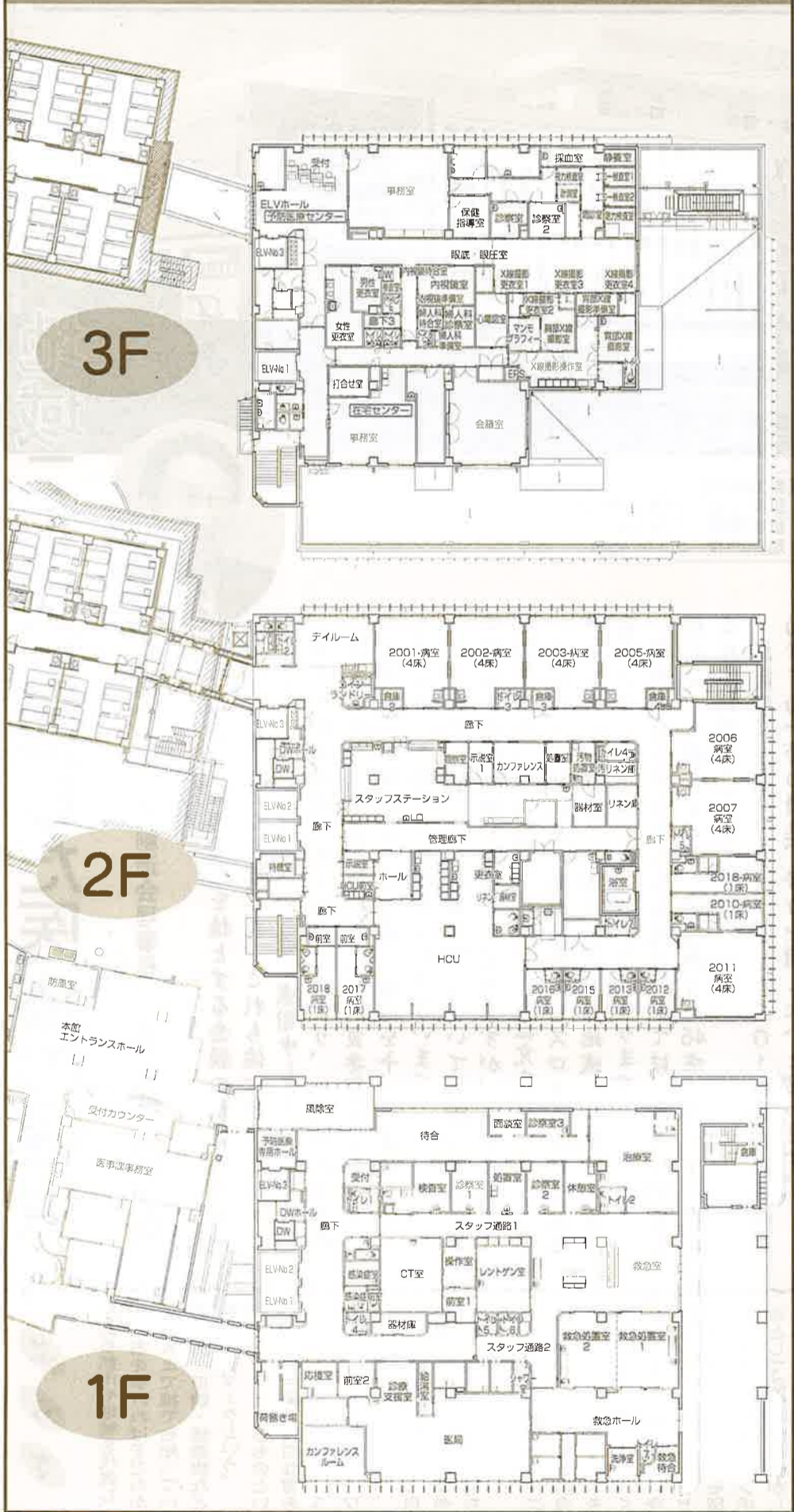
一龍齋貞水氏

6代目一龍齋貞水氏は東京都文京区湯島生まれで、講談の世界で初めての重要無形文化財保持者に認定されました。
『怪談の貞水』の異名を取る大看板真打でもある先生は、昨年10月には旭日小綬章を受章され、観客を震え上がらせる高座の表情とはまた違う若々しいまなざしで、喜びを語られました。

(受賞のコメント)「60代が終わり、70代に入った区切りの年に、記念になるものをいただいた。われわれの世界は新しいものを作る気持ちがなくなくなると曇も止まってしまう。受賞を機に初心に戻り、やってやろうじゃないかという気になった」
(先生のプロフィール) 高校入学と同時に5代目一龍齋貞丈に入門。「貞春」の芸名をもらい、上野・本牧亭で初の高座。以来芸の道一筋に駆け上がり、41年には真打ち昇進、6代目貞水を襲名した。
中でも照明や音響、大道具など特殊演出効果を駆使した斬新な怪談は『立体怪談』の名で人気を呼び、テレビやラジオにも進出し衰退していた講談界に活気を取り戻し、講談のファン層拡大に一役買った。
「講談は守るべきものと開拓すべきものがある」が座右の銘。立体怪談も「時代遅れにならないように形を変えた」と自負。反面、後輩には「古いものができればこそ新しいものができる。話芸を練磨しておかないと恥を

かく」と厳しくも温かいエールを送る。奇席の定席はもちろん、「講談・湯島道場」やホール寄席、海外公演と、活動は幅広く精力的。「いつも一球入魂ならぬ一言入魂」。そのときが勝負ですから」

新館 各フロア平面図



看護職員 募集中



- ★ブランクのある方も歓迎
- ★院内保育所完備(365日24時間) 病児保育も可

※詳細は、お気軽にお問い合わせ下さい。

問い合わせ先
☎ 04-7189-1545
〈総務部・遠藤〉

